



むこう

2026/8/1
(令和8年)

267号

市議会だより

— 古代衣裳でたずねる

いにしへの都長岡京 —

古代衣裳製作ボランティアによる展示です。

第2回 定例会

もくじ

定例会の概要	P 2
一般質問	P 3
議会のうごき	P 7
請願の処理経過及び結果 ...	P10
議決結果一覧	P11

YouTubeでも定例会の様子がご覧いただけます。

向日市議会
チャンネルは
こちら→



傍聴者向け
配付資料は
こちら→



※文化資料館での展示は終了しています

令和8年第2回定例会に提出された議案

人 事 案 件	16件
農業委員会委員	16件
補 正 予 算	5件
一般会計補正予算	4件
特別会計補正予算	1件
条 例 の 制 定	1件
条 例 の 一 部 改 正	3件
そ の 他	3件
専決処分の承認（調停の成立）	1件
財産（校務DX整備事業）	1件
京都地方税機構規約の変更	1件
合 計	28件

令和8年第2回定例会は、5月29日から6月24日まで、27日間の会期で開かれました。

本定例会で提案された議案は左表のとおりです。

このうち、議員が最終日に「向日市議会議員政治倫理条例の制定について」の議案1件を提出しましたが、閉会中の継続審査となりました。そのほか、議員から意見書案2件、決議案1件を提出し、市民等からは「向日市長選挙及び向日市議会議員選挙の同日実施に向け、議会において必要な検討を行うこと」を求める「請願」を含む、請願2件が提出されました。

※議決結果一覧は、P11に掲載しています。

令和8年

第2回定例会

令和8年度向日市一般会計補正予算など28議案を同意及び可決

可決された主な議案

人事議案に同意

【農業委員会委員】

春田	橋本	中埜	清水	黒田	岡田	一口	山本	中山	中村	仲澤	清水	香本	上辻	上田	厳嶋
はるた	はしもと	なかの	しみず	くろだ	おかだ	いもあらい	やまもと	なかやま	なかむら	なかざわ	しみず	こうもと	かみつじ	うえだ	いつくしま
正輝	正	立雄	良廣	博幸	義和	琢夫	貴之	充子	博明	政一	登	和也	陽子	貢	操
まさき	ただし	たつお	よしひろ	ひろゆき	よしかず	たくお	たかゆき	じゅうこ	ひろあき	まさかず	のぼる	かずや	ようこ	みつぐ	みさお
氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏
(物集女町御所海道)	(鶏冠井町大極殿)	(森本町前田)	(上植野町野上山)	(物集女町北ノ口)	(寺戸町中垣内)	(森本町前田)	(寺戸町中垣内)	(物集女町森ノ上)	(寺戸町新田)	(上植野町北小路)	(森本町東ノ口)	(寺戸町中ノ段)	(鶏冠井町御屋敷)	(鶏冠井町北井戸)	(上植野町切ノ口)

専決処分の承認を求めることについて
(向日市税条例等の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するもので、主な改正内容は次のとおりです。

【個人住民税】① 給与所得控除の引き上げ ② ひとり親控除の控除額の引き上げ ③ ふるさと納税制度（特例控除額）の控除額上限の設定を含む地方税等の改正に伴う所要の改正

【軽自動車税】① 環境性能割の廃止 ② 軽自動車税のグリーン化特例（軽課）の延長
【固定資産税】① 免税点の引上げ ② 再生可能エネルギー発電設備に係る特例措置の拡充・延長

向日市印鑑条例の一部改正について

個人番号カードの機能と一体化した特定在留カード又は特定特別永住者証明書を利用して、コンビニエンスストア等に設置されている多機能端末から印鑑登録証明書を取得することができるようにするとともに、所要の改正を行うものです。

令和8年度向日市一般会計補正予算(第1号)

令和8年度向日市一般会計補正予算(第1号)は歳入歳出予算総額に585万円を追加し、歳入歳出予算の総額は、293億585万円となりました。

○製氷機購入に係る費用（小学校費）

.....390万円

○製氷機購入に係る費用（中学校費）

.....195万円

令和8年度向日市一般会計補正 予算(第3号)

令和8年度向日市一般会計補正予算(第3号)は歳入歳出予算額に1,500万円を追加し、歳入歳出予算の総額は、293億2,402万5千円となりました。

○京都子育て支援医療に係るシステム改修費用

.....1,500万円

財産(向日市校務DX整備事業 端末)の取得について

予定価格が議会の議決に付すべき契約および財産の取得または処分に関する条例に規定する額以上となる財産(向日市校務DX整備事業端末)として校務用パソコン端末、マウス、外付SDカードリーダー等の取得をします。

向日市議会議員政治倫理条例の 制定について

向日市議会政治倫理綱領に掲げる理念を具体化し、市民の議会への信頼の確保を図ることを目的とするもので、本会議最終日に議員から議案が提出されました。

本議案は、議会運営委員会に付託され、本会議休憩中に委員会を開催しました。本会議再開後、委員長の報告があり、議長宛に継続審査の申出書が提出され、採決の結果、当議案については、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

主な質問と答弁

一般質問

あなたも議会の傍聴をしませんか？

本会議当日、受付で住所・氏名など記入の上、傍聴券の交付を受けて入場することができます。

ただし、体調不良の場合は、傍聴をご遠慮いただいています。

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。また、本会議は議場前の議会中継視聴室、本館フロアロビー、東向日別館3階のテレビモニターで生中継しています。

一般質問発言通告表は、ホームページや公共施設等で事前に公開されます。

※質問の文責は議員にあります。

一般質問発言通告表はこちら→



第2回定例会での一般質問は、6月11日・12日の2日間にわたり行われました。

質問・答弁とも1人2問までに絞り、内容を要約しましたが、詳しくは8月末ごろ、会議録に掲載されます。

会議録は市役所、図書館のほか、インターネットでも閲覧できます。

向日市議会ホームページへのアクセスは検索画面で

向日市議会 を入力して クリック

質問者名の下のQRコードは、読み取ると本会議YouTube配信の質問者掲載部分が視聴できます。質問と答弁が休憩をはさむ場合はQRコードが2つ掲載されています。

女性消防分団 設立について



明日の向日
林リエ議員

国は令和8年度末までに女性消防団員数5%を目標としている。京都府内で女性消防団設置が無いのは向日市含む5市町のみだ。自助・共助を支える新たな仕組みの構築として女性消防分団を創設してはどうか。

個別避難計画策定 に社協との連携を

避難行動要支援者が地域の防災活動に参加できていない現状は深刻だ。災害弱者の命綱である個別避難計画策定が大幅に遅れている。策定には多くの他団体の協力が必須だ。まずは社協と連携して作成を加速してはどうか。



市長 私市長就任時から女性の入団について、方針や体制のあり方を考えてきた。自治体によって消防団活動は異なり、他市事例をそのまま適用するのは難しいが、女性が活動しやすい環境構築の検討は必要である。様々な課題を整理し女性消防団設立を含め消防団のあり方について、消防団の意見を聞き、考えている。

市民サービス部長 個別避難計画の社会福祉協議会との連携体制は現在整っていないが、今後どのような連携がとれるか協議していきたい。

○その他の質問

- ・防災会議の充実
- ・災害ボランティアセンターの立ち上げ訓練





日本共産党議員団
米重健男議員



市民会館とニデックパークの名称は

市内企業の不正会計品質不正問題報道を受け「市民会館とニデックパークの名称が向日市にふさわしくないのでは」との意見が多々ある。また市民会館は寄附時の覚書があるが、名称変更の規定がない。名称変更は協議の上での条例改正で足りると思うが、名称変更を検討するのか。

副市長 一連の事案と個人の寄附とは切り離して考えるべきであり、寄附者の功績は何ら損なわれるものではない。名称変更の協議も申し出ることで自体寄附者の厚意を無にし、信頼を裏切る行為で、市から申し出るべきものではないと考えている。

ニデックの森本東部開発への影響は

森本東部地区におけるニデックの開発計画では、C棟建設後、順次A棟、B棟、第二本社を計画しており、寺戸川の河道変更を行ってまで造成工事を進めて来た。今後の計画はどうなるのか。

市長 永守重信創業記念館建設事業の延期は聞いたが事業中止とは聞いておらず、森本東部開発が進められていくと考える。本開発は雇用を生み出し、市が継続的に発展し続けるために重要な開発であることから、動向に注視してまいりたい。

○その他の質問
・不登校について
・まちてらすMUKOについて



日本維新の会 無所属の会
村田光隆議員



指定ごみ袋の不足時の対応を聞く

指定ごみ袋の品切れや品薄が各地の自治体で起きている。今後品切れまたは品薄状態になったとき、買いためへの自粛呼びかけや指定ごみ袋以外のごみ袋でも出せるよう柔軟な対応をお願いしたいがいかがか。

副市長 ホームページで買い占め等を控えるよう呼びかけているが過度な周知は不安を与え購入を急がせると聞いており情報発信に注意を払っていく。今後指定ごみ袋不足が顕著になるおそれが生じた場合は乙訓二市一町で適切な対応を検討する。

自転車の交通安全対策について

今年の4月に自転車の交通違反に対して青切符が導入されたが、道路環境や市民への周知が十分整っていないと言えず、課題も多い。向日町署と連携して市民が安心して通行できる交通政策を進めていきたい。

都市整備部長 運転者の規範意識を高めることが重要であり、本年4月の制度導入に合わせ広報にも制度の内容を掲載した。今後も向日町署を始め関係機関と連携して交通ルールの啓発に努めたい。



自民クラブ
上田 雅議員



公共施設の維持管理等の実施方針

公共施設の維持管理、修繕、更新等の実施方針を伺う。

市長 公共施設は老朽化に伴い、維持管理、更新費用等の財政負担が課題だ。資材の高騰等、公共施設を取り巻く環境は変化するが、市民生活に必要な機能を適切に維持、集約するためあり方を見直し、組織全体で検討することが重要である。

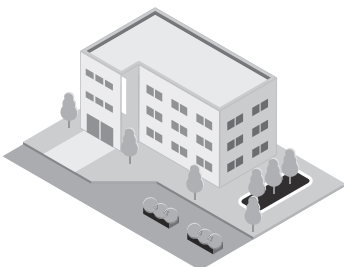
都市整備部長 維持管理、修繕、更新等の実施方針については、定期点検の実施により計画的な修繕を行う。

体制の構築方針について

総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針について伺う。

都市整備部長 組織間で横断的に情報を共有することが不可欠であり、各施設の所管部署が連携し、利活用や適切な維持管理を継続的に検討していく。

○その他の質問
・長寿命化の実施方針について伺う。





都市整備部長 再開発組合から、今後の情勢次第では、建設資材の納期遅延や供給数量制限等に加え、原油価格や輸送費の変動に伴う資機材価格の上昇が生じる懸念が高まっていると聞いている。

石油由来のナフサはあらゆる工業製品の原料である。建設業ではナフサ不足からの建材不足が価格高騰、入手困難、工期の延長という形で影響が出ている。本市における向日町駅再開発への影響と対策を伺う。

ナフサ不足の影響について



公明党議員団
福田正人議員



観光と道路標識について

アリーナの開設に伴い、来場では公共交通機関の利用を促すとされている。それでも車で来られる方も多くおられると考える。そこで周辺自治体と連携し「パークアンドライド方式」を検討されているかがか。

都市整備部長 パーク

アンドライド方式は、混雑の緩和等に一定の効果があるが、都市部の場合は利用される駐車場が混雑することや駐車場を探しながら目的地周辺までたどり着いてしまうことについても配慮する必要があるため、本市では公共交通機関の利用を呼びかけていく。

○その他の質問

・観光案内板の多言語表記について



MUKOクラブ
近藤宏和議員



中小企業振興融資制度について

地方自治体が地域の中小企業を重視し、その振興を行政の柱として明確化するために制定されている中小企業振興基本条例だが、向日市においても将来を見据えて制定する必要があると考える。その上で本市が実施している中小企業振興融資制度について伺う。

市長

条例制定は大変意義があり、支援施策との連動により効果を発揮すると考える。中小企業に真に必要な条例を検討したい。

環境産業部長

平均融資額はやや増加傾向だ。金融機関等と協力して、適正運用に努めたい。

学校図書館を学び支える空間へ

大学を中心に整備されているラーニングコモンズ機能を取り入れた学びを支える空間として、学校図書館を運営していくことが重要だ。今後の学校図書館のあり方について、現状も含めて本市の見解を伺う。

教育長

学校図書館は保護者等のご尽力で読書センターとして充実してきている。さらに今年から新たな学校図書管理システムの運用も開始した。今後、学校図書館を読書活動の推進だけでなく、学習活動の場として、学びの拠点となるよう努めていきたい。

○その他の質問

・介護や福祉現場の担い手不足対策について

※ラーニング・コモンズとは 自由な発想で学習発表・課外学習を深めることのできる総合的学習スペース



市民会館名称の見直しはあり得るか

向日市民会館の名称は、寄贈者の意思を踏まえて定められたが、公共施設の名称は市民全体の利益と公益性を踏まえて判断するべきだ。社会情勢の変化や市民意識を踏まえ、寄贈者への敬意を払いつつも見直すことはあり得るのではないかと。

市長

様々な意見があることは承知しているが市の財政で建て替えが困難だった市民会館を寄贈いただいた経緯は変わらない。私財を投じ全額寄付された建物をこちらから一方的に名称変更する行為はできないと思っている。

副市長

アリーナ整備は府の事業であり、裁量権等がない市では責任を持つて事業内容を説明できない。一方、皆様の要望は幾度となく伝えていく。こうした要望や不安等に丁寧に対応するため府の現地事務所が設置されており直接要望を伝えていただきたい。

○その他の質問

・小学校給食費補助の支援を受けられない児童がいる



明日の向日
杉谷伸夫議員



アリーナ周辺住民と会って聴くべき

アリーナ建設工事が3月から着工し、周辺住民に直接的な被害が及んでいる。住民の皆さんが市長に面談を求められたが、断られたそうだ。市長は、今からでも直接会って、話を聴く考えはあるのか。



日本共産党議員団
北林智子議員



認知症施策推進 計画について聞く

超高齢化社会を迎え、認知症は誰もがなり得るものである。共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が制定され、認知症になっても住み慣れた地で周囲の理解を得て暮らし続けられること、家族も安心して生活出来る環境を整えることが大切である。そこで、認知症施策について、市の努力義務である認知症基本法推進計画の有無、進捗状況を伺う。

市民サービス部長 市の認知症施策について、単独の計画は策定していないが高齢者施策全般を定める「こうふくプラン向日」に認知症施策を位置付け各事業を推進している。現在、次期計画策定を進めており、策定委員会等で今後の認知症施策のあり方を検討していきたい。



○その他の質問
・熱中症対策について

オレンジカフェ 等への支援

市民ボランティアによるオレンジカフェ開催や学習啓発活動への補助金・人的支援等、物心両面での支援をしてほしいという声を聞くがいかかが。

市民サービス部長 市民活動への人的支援や財政支援は活動の公益性・公平性の観点から、慎重な判断が必要である。しかし市民の自主的活動は地域共生社会推進において重要であることから、今後は連携・協働につき検討できればと考えている。



日本維新の会 無所属の会
長谷川愛議員



デジタル時代の障 がい支援制度とは

社会がデジタル化し、障がいのある方にとって情報通信機器は重要な支援ツール。支援用具の対象は限られ同一対象者への給付も1回だ。OSの更新等で長期間使い続けられるよう時代に即した視点で見直し、情報通信支援用具等の耐用年数の見直しについて伺う。

市長 情報通信支援用具給付は1回に限ると定めているが、OSの更新等で利用ソフトが使用できなくなる等の実情がある。給付要件について適切な耐用年数を設定し再度給付を受けられるよう見直し、障がいのある方が安心して暮し続けられるよう努めたい。

○その他の質問
・一般家電の活用等本市独自の支援検討について

地域活動と官民連 携推進の総合窓口

本市は京都府内で最も面積が小さく、市民と行政がお互いの顔が見える関係性を築きやすい。その強みを活かして、市全体を活用した官民連携によるまちづくりを進めるための相談窓口やコーディネート機能について市の考えを伺う。

ふるさと創生推進部長 市民企画の事業等は目的や規模等が多岐にわたる事業に応じた担当部署を窓口としており、所管が分からない場合等は広聴協働課が窓口を紹介している。今後、官民連携の視点を取り入れ持続可能な地域作りに取り組む。



日本共産党議員団
丹野直次議員



アリーナの歩道計 画で緑地の影響は

京都アリーナ（仮称）整備で周辺市道2107・2139号線に面する歩道の拡幅や競輪場敷地5千平米の緑地計画等の話があるが、まずは一番影響を受ける近隣住民の要望や意見等話合う場を持つてはどうか。

副市長 寄せられた要望には関係各課が対面でお話しする場を設ける等、丁寧に対応している。周辺の自治会や学校等から特段苦情等は伺っていないが、市民からの要望は、今後も案件に応じて相談体制を提供し府の現地事務所等も併せて活用していただきたい。

○その他の質問
・地下水調査の結果と現状、桂川案の所見
・府道改善の進展を伺う

地下水への影響の ある計画は中止を

北陸新幹線建設局は三次元水循環解析の調査報告で「地下水には影響はない」としているが、どのルートでも影響がでることは確かだ。地下水検討委員会の報告では桂川駅になった場合にも施工中施工後も最大1mの水位影響の報告がある。市はどのように認識しているか。

市長 鉄道・運輸機構の委員会報告書では、桂川駅築造の施工中施工後に影響が予想され、配慮が必要だとしているが、予測範囲内に市水道事業の取水井戸はなく影響はないと考える。今後影響が判明した場合、原因究明と対策の確実な実行を要望する。



日本維新の会 無所属の会
青山まゆみ議員



早めの認定結果 確認について

介護保険更新時の認定結果が直前まで不明ではケアマネジャーは暫定の計画をまず作成し、認定結果の通知後に、また正規の計画を作成しなければならぬ。ケアマネジャーの心身の負担が生じないよう、認定審査をスピーディーに行い、認定結果を早めに確認できるようにできないか。

副市長 本市では期限内に審査判定が行えるよう、更新申請の勧奨を行っている。また国が介護情報を共有する情報基盤の構築を進めており判定までの日数の短縮が期待される。今後も被保険者や家族、ケアマネジャーの負担軽減に努める。

ひきこもり支援 体制への要望

ひきこもり状態にある方の社会参加や就労ステップの場が不足していると感じる。これからのあり方を検討中の老人福祉センター内に、このような場を設けることを検討しているだけではないか。

市民サービス部長 老人福祉センターは市民の利用も多く、ひきこもり状態の方にとって安心できる相談環境の確保は難しい。就労支援は専門職員が粘り強く行う必要がある。今後、社協等の関係機関と連携し、その方に寄り添った支援を行っていく。

○その他の質問
・ニデックの企業としての向日市への影響について



日本維新の会 無所属の会
松本みゆき議員



むこうのWa プロジェクト

京都アリーナ応援プロジェクトの愛称はむこうのWaプロジェクトに決定した。来訪者を迎え入れるには駅前の景観整備や花壇整備等を通じた温かな歓迎ムードの醸成等多角的な戦略が不可欠である。どのように連携を深め支援するのか伺う。

副市長 交通対策や事業者の誘導計画の説明過程で、府や商工関係者と地域活性化や賑わい創出の取組を検討し「向日市の人たちがつながり合ったり協力し合ったりする」思いを実現できるよう取り組んでいく。

○その他の質問
・地域資源と観光振興・発達特性のある子への切れ目のない支援

療育前の安心な 相談環境づくり

子どもの発育面で不安を感じていても療育自体が市民に聞き馴染みが少ない。現在健診時に保護者へコンタクトされるが、療育につながる前段階にも保護者が孤立せず安心して相談できる環境づくりが求められている。今後どのように取り組んでいけるのか伺う。

市民サービス部長 保護者同士の交流や発達相談員等の専門職に相談できる場を設けているが、案内は健診で行うため不安や悩みを抱えた保護者に情報が十分に届いていない状況である。今後は保護者が相談したい時に速やかに相談できるように広く周知し支援環境づくりを進めたい。

議会のついで

4月16日	近畿市議会議長会 定期総会（神戸市）
4月24日	議会運営委員会
5月7日	乙訓市町議会議長会総会（向日市）
5月15日	京都府市議会議長会総会（宇治市）
5月22日	山城地区議長連絡協議会総会（精華町）
5月25日	徳島県阿南市議会視察来庁 議会運営委員会
5月27日	全国市議会議長会定期総会（東京都）
5月29日	本会議 第1日（第2回定例会） 総務文教常任委員会 議員全員協議会 議員互助会総会
6月8日	議会運営委員会
6月11日	本会議 第2日（一般質問）
6月12日	本会議 第3日（一般質問）
6月15日	議会活性化特別委員会
6月16日	厚生常任委員会
6月17日	建設環境常任委員会
6月18日	総務文教常任委員会
6月23日	議会運営委員会
6月24日	本会議 最終日 議会運営委員会
6月25日	乙訓環境衛生組合議会
6月26日	乙訓福祉施設事務組合議会
6月30日	乙訓消防組合議会

議会運営委員会・厚生常任委員会 所管事務調査（行政視察）報告

所管事務調査報告

議会は本会議や委員会で議案などの審議を行うだけでなく、他都市の状況を調査することでより見識を深め、本市の行政に反映できるよう所管事務調査を行っています。

なお、議員による所管事務調査報告書は市役所本館2階の情報公開コーナーで閲覧できます。

議会運営委員会

1月21日 広島県呉市

「議会基本条例の制定と検証について」
「議会BCPについて」

1月22日 岡山県浅口市

「会議支援システム・
スマートディスカッションについて」

呉市では、「議会基本条例の制定及び検証について」と「議会BCPについて」視察しました。呉市議会基本条例は、平成22年に制定され、その後も議員の選挙後に定期的に検証ができる体制を整えて、必要に応じて議会運営の改善やルールの見直しにつなげられており、議会改革が一過性に終わらない工夫がされていました。

議会BCPは、災害発生直後の初動対応や議員等の安否確認方法、議会招集の判断基準等が具体的に整理されておりまし

た。
浅口市では、会議支援システム・スマートディスカッションについて視察しました。実際のシステムの運用状況を見せていただき、ペーパーレス化による経費削減のみならず、議員が必要な資料に迅速にアクセスができるよう工夫され、より効率的な議事運営に努められていました。



議会運営委員会（浅口市）



豊明市では、「ふつうに暮らせるしあわせをどう支えるか」をテーマとして、地域包括ケアシステム「豊明モデル」について視察しました。昭和40年代に整備された、豊明団地を中心とした独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加、医療・介護ニーズの拡大と担い手不足を背景として、要介護状態にさせない、重度化させない仕組みの構築に取り組んでおられます。要支援者に対しては、介護保険サービスに限定せず、地域資源や民間サービス、「通いの場」などを組み合わせ、一人ひとりの状況に応じた支援を行うことで、住み慣れた地域での生活を継続できる地域包括ケアの実現を目指していました。

豊橋市では、「こども若者支援センター「ココエール」の取組について視察しました。同センターは、妊娠・出産から子育て、若者の自立まで切れ目のない相談支援体制の構築を目的に設置され、子育て支援、ヤングケアラー支援、施設退所後のケアリバーへのアウトリーチ支援などを実施しておられます。開設から7年が経過し、相談機能の集約による情報の蓄積・活用が進むとともに、過去の事件の反省を踏まえた児童養護施設や里親団体など関係機関との連携強化や、児童相談所への職員派遣を通じた専門性の向上などの取組が進められていました。



厚生常任委員会（豊明市）

厚生常任委員会

1月13日 愛知県豊明市

「地域包括ケアシステム（豊明モデル）について」

1月14日 愛知県豊橋市

「こども若者支援センター「ココエール」について」

令和7年度の個人情報保護制度運用状況

向日市議会の個人情報の保護に関する条例に基づき、令和7年度におけるこの条例の運用状況を公表します。

◎請求件数／0件

向日市議会議員の請負の状況

向日市議会議員の請負の状況の公表に関する条例第3条に基づき、令和7年度における内容を公表します。

◎向日市に対する請負件数／0件

日	月	火	水	木	金	土
8/16	17 議会運営委員会	18	19	20	21	22
23	24 本会議 (提案説明)	25	26	27	28	29
30	31	9/1	2 議会運営委員会	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問)	5
6	7 本会議 (予備日)	8	9 厚生常任委員会	10 建設環境常任委員会	11 総務文教常任委員会	12
13	14	15	16 議会運営委員会	17 本会議 (委員長報告・討論・採決)	18	19

第3回
定例会の
予定

会議時間はいずれも午前10時からの予定です。
なお、議案の内容は本会議初日の翌日にホームページに公開されます。お問い合わせは議会事務局まで。
議会事務局 874-3540(直通) 931-1111(市役所代表)



令和7年第4回定例会で採択され、市長に報告を求めている請願について、令和8年第1回定例会に次のとおり報告がありましたので、お知らせします。

私立幼稚園幼児教育振興助成に関する請願

3 幼児教育の振興を図るうえで、幼児達の学びの環境を整えることは重要なことであると認識しております。このことから、本市におきましては私立幼稚園に対しまして、幼稚園教育の振興を図るため、環境・設備整備に関する補助制度として、設備費補助金を、また、教材教具の購入に関する補助制度として、教材教具購入補助金を交付しているところであり、今後も必要な予算を確保してまいりたいと存じております。

請願・陳情書の出し方

1. 請願（陳情）書は、その要旨と理由、請願（陳情）者の住所・電話番号を記載し、署名または記名押印して議長宛てに提出してください。
2. 請願書は、その内容に賛成する議員の紹介が必要です。陳情書については紹介議員を必要としませんが、議会での審査は行なわれません。
3. 請願（陳情）書は、いつでも議会事務局で受け付けます。ただし、請願書の審査は定例会の開会日２日後までに受け付けたものについて、その定例会で審査し、その日より後で受け付けたものは、次回定例会での審査となります。陳情書は受付後、直近の本会議で議員に配布されます。
4. 請願（陳情）書は、どのような内容でも受け付けますが、なるべく本市の行政権限内の事項にしてください。
5. 請願者は、委員会での審査の際、委員会の許可により５分間以内で趣旨説明を行うことができます。なお、請願者とは、住所を記載し、署名または記名押印をした者です。

令和8年第2回定例会

議決結果一覧

○＝賛成、×＝反対、退＝退席、除＝除斥、欠＝欠席 ※議長（山田）は、可否同数以外は採決に加わりません。

番号	件 名	議 決 結 果	日本共産党 議員団				日本維新の会 無所属の会				自民 クラブ			公明党 議員団		MUKO クラブ		明日の 向日	
			山 田	北 林	米 重	丹 野	村 田	青 山	長 合 川	松 本	米 澤	上 田	天 野	福 田	富 安	和 島	近 藤	杉 谷	林
賛否が分かれた（除斥含む） 議案等																			
請願 2	医療・介護労働者の処遇改善実現に必要な財政措置を国に求める請願	不採択	－	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
意見書 3	中東情勢による石油由来材料不足などによる物価高騰への財政措置を求める意見書	原案可決	－	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○
決議2	向日市長選挙及び向日市議会議員選挙の期日変更および投票率の向上の検討を進める決議	否決	－	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
議案 54	向日市議会議員政治倫理条例の制定について（賛否は継続審査とすることについて）	継続審査	－	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
全会一致（全議員賛成）																			
議案 27～42	農業委員会委員の任命について（巖嶋 操氏、上田 貢氏、上辻 陽子氏、香本 和也氏、清水 登氏、仲澤 政一氏、中村 博明氏、中山 充子氏、山本 貴之氏、一口 琢夫氏、岡田 義和氏、黒田 博幸氏、清水 良廣氏、中埜 立雄氏、橋本 正氏、春田 正輝氏）															同 意			
議案43	専決処分の承認を求めることについて（向日市税条例等の一部を改正する条例）															承 認			
議案44	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度向日市一般会計補正予算（第12号））															承 認			
議案45	専決処分の承認を求めることについて（令和7年度向日市介護保険事業特別会計補正予算（第2号））															承 認			
議案46	専決処分の承認を求めることについて（調停の成立）															承 認			
議案47	向日市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について															原案可決			
議案48	令和8年度向日市一般会計補正予算（第1号）															原案可決			
議案49	令和8年度向日市一般会計補正予算（第2号）															原案可決			
議案50	財産（向日市校務DX整備事業端末）の取得について															原案可決			
議案51	京都地方税機構規約の変更について															原案可決			
議案52	向日市印鑑条例の一部改正について															原案可決			
議案53	令和8年度向日市一般会計補正予算（第3号）															原案可決			
請願 1	向日市長選挙及び向日市議会議員選挙の同日実施に向け、議会において必要な検討を行うことを求める請願															採 択			
意見書 2	ドナーミルクの利用拡大を求める意見書															原案可決			

※議案等の内容は、向日市議会ホームページ「議案・議決結果」で公開しています。

議員表彰 全国市議会議長会

第102回全国市議会議長会定期総会（5月27日）において、正副議長在職4年以上として丹野直次議員が、議員在職10年以上として、米重健男議員、和島一行議員、村田光隆議員、上田雅議員が表彰されました。なお、福田正人議員は議員在職10年以上としての表彰を辞退されました。



写真左から 米重議員 和島議員 丹野議員 村田議員 上田議員

インターネットで定例会の様子が ご覧いただけます。

市民の皆さまに議会への理解を深め、関心を高めていただけるよう、YouTubeのサイトを利用して、インターネット上で本会議や委員会の様子を配信しています。パソコンやスマートフォンでも、本会議や委員会の様子をライブ中継や録画映像でご覧いただけます。



向日市議会
チャンネルは
こちら→



◎方法／市ホームページ「トップページ」→「向日市議会」
→「議会映像配信」からご覧ください。

※視聴にあたっては、ホームページ記載の免責事項を確認いただき、ご了承いただきますようお願いいたします。

編集後記

盛夏の候、市民の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より議会活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。今回の定例会でも、市民生活に関わる議案について活発な議論が行われました。日々いたくご意見やお声は、議会の取組をより良くする大切な力となっています。これからも、議会だよりが市政を身近に感じていただける一助となるよう努めてまいります。暑さが続く折、皆様どうかお身体を大切にお過ごしください。

（議会だより編集委員会）